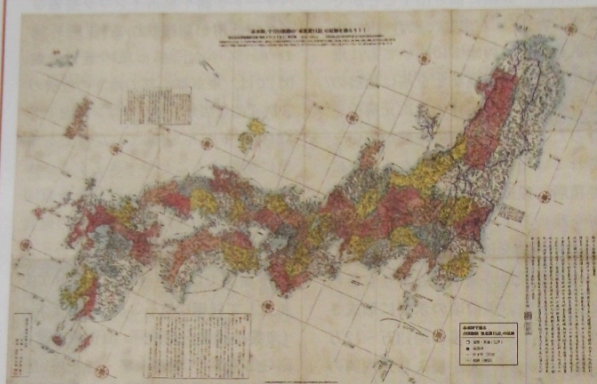


お知らせ Information

長久保赤水関係資料693点が国の重要文化財に指定された記念に発行

長久保赤水顕彰会

—「赤水図」原寸大レプリカ・両面刷り—



(表面) 吉田松陰が歩いた「東北遊日記」のルートを「赤水図」上に掲載しました。

長久保赤水顕彰会(会員728名)は、伊能忠敬(1745～1818)の「伊能図」よりも42年も前に、測量もせず日本地図「改正日本輿地路程全図」(通称「赤水図」)を作成した長久保赤水(1717～1801)の業績を顕彰する会です。当時の日本地図や各藩の国絵図など、さらには、天文学の知識を地図に生かし、あらゆる情報を集めて修正を繰り返した編集図です。「伊能図」は、江戸幕府の御用で作成されました。各藩に命じて作らせた国絵図を日本全体の地図にまとめるためには、沿岸の測

量が必要だったのです。このため、「伊能図」は幕府の秘図として幕府の一部高官しか見ることができませんでした。なお、伊能忠敬は長久保赤水の「赤水図」を常に測量時に携帯していたことが、伊能忠敬の測量日記の中にも書かれています。一方の「赤水図」は、個人の力で天文学の知識なども活用して、利用者の利便性を最優先にして作られた編集図です。江戸時代の庶民・大衆に普及した「赤水図」は、江戸時代後期の約100年間のロングベストセラーで、赤水没後も繰り返し出版され続けました。

(裏面)「赤水図」の変遷を比較しよう!! 左上から原図、初版、2版(赤水生存中)、左下から3版、4版、5版

○制作発行者 長久保赤水顕彰会 ○価格 1,100円(税込)

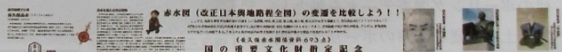
○問い合わせ先 長久保赤水顕彰会事務局

〒318-0103 高萩市大能341 佐川春久

携帯: 090-1846-6849 Eメール:

haruhisagawa@yahoo.co.jp

<http://nagakubosekisui.org/>



NAGAKUBO SEKISUI
KENSHOKAI